

清恵会第二医療専門学院 理学療法士科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念および教育目標を定め、学内掲示スペースに表示している。	1年次の早期の授業科目にて「人材像」を伝え、3年次の臨床実習前にも伝えている。 課題として、到達できたかの評価し、教育内容への反映させることと考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	新人教育担当者の指導のもとで、基本的な理学療法を実施できるというニーズには応えている。指定規則改訂後の地域理学療法ほかの各分野に準拠し、カリキュラム変更をしている。	理念等で方向性は示せているが、シームレスな卒前・卒後教育システムを構築していくための、具体的なEPAの設定が課題と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人内施設と連携した臨床実習教育など、他の養成校にはない特色ある教育活動に取り組んでいる。学生の自主的な行動を促し、積極的な意見交換や他者への思いやりを育んでいる。	少人数教育、法人内施設を利用した臨床教育、臨床現場のPTに協力いただいた臨床実習前後の評価など、特色ある職業人育成に取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	育成すべき人材と入学学生の状況を比較し、育成に必要な学習内容を変化させている。多様化する理学療法の専門分野において、スポーツ分野や地域理学療法分野など、教育内容を拡大させている。	教育内容の拡大は図れている。そのため、履修はできているが、修得できたか否かの評価が課題。そのためEPAの作成が課題と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。放射線技師科も含めた第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2020年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期計画の中で、経営計画マスタープランを定め、共有している。	2020年度に引き続き、「ありたい姿」を目指し取り組んでいく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営会議を開催し、月に一度、全学科全学年の状況を共有している。法人からの指示や方針を伝達し、調整している。	各科の役職や役割間での連携強化に努めていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会を開催し、学院運営会議からの指示および実務の調整を行っている。また、学年担任制で教員を配置し、各学年に担任、副担任の2名を配置する体制をとっている。次年度準備体制で、職員2名減少に対する対策は不十分である。	教務会を開催し、現状の共有、課題への審議を行いながら進めている。職員2名減に対する対応が不十分である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	カリキュラムおよびシラバスにより、各年次の教育内容、実施方針を定めている。科目間での共有化や相互での分担は、不十分で調整の必要がある。	各科目間の連続性においては、課題はあるが、ほぼ適切に運用できている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則細則により、各年次の科目履修規定を設けており、単位修得について評価点の基準を設けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	関連病院だけでなく多くの病院での臨床実習や介護老人保健施設での実習を通して、保健・医療サービス、社会のニーズを学び、その中で必要な臨床問題解決能力が身につくよう編成している。	授業科目だけでなく、教科外活動やホームルームなどを積極的に取り入れ、教育目標を目指している。反面、教科外活動が多くなる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の評価認定審査を受け、自己点検評価報告書を受領している。	教員の質の一面として、修士以上の者が1名しかいない。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家資格の修得、専門職としての自己研鑽、という観点で学習を促しているが、実社会での専門性や研究などのキャリア教育の結果は、著しい成果には繋がっていない。	学ぶ意欲を高めるために早期から実習を取り入れ、職業人としての自分の進路を決定できるように、サポートしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士養成施設指定規則に基づき、要件を満たしている教員を確保している。次年度体制の準備で、教員1名減少に対しての対策は不十分である。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員研修規定において、職務遂行に必要な知識技能の修得および向上を目指すよう、取り組んでいる。しかし、学会参加や発表の機会はほとんどなく、日々の業務に追われているのが実情である。	外来診療での臨床業務、PT協会主催の研修会や学会への参加している。今後は、学会での発表、論文執筆、研修会での講師なども行ってほしい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員について、担当科目終講後に学生全員を対象として、講義アンケートを実施している。アンケート内容と集計結果について、解析に検討が必要な部分がある。	授業評価アンケートを実施し、各教員へフィードバックしている。その結果を授業改善に取り組んでもらっているため、継続してもらいたい。また、各学年の特色(個性)に応じて、教示方法の変更なども行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績において、単位修得基準や各種試験での合格点、履修条件を定め、入学時および各学年開始時にオリエンテーションを行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業において課題を提示しグループワークをさせ、発表する授業を設けている。また、実習終了後には、個々で振り返りをさせることで、課題を明確にさせている。それらを発表させ、在校生、教員は聴講し、成果の確認を行っている。	グループワークを行い、発表する形式の授業が増えてきている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職の養成、人間形成という観点で、常々学生に明示し、免許取得と実務のできる人材育成を公然の目標としている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする理学療法士国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験合格を目標におき、講義科目を3科目設定し、国家試験対策教員を配置した上で、継続的に学生指導にあたっている。ここ20年以上、合格率は全国平均をはるかに上回り、トップクラスである。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理学療法士国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%であり、各施設からの求人票受け入れており、翌年に新年度用の求人票ひな型を送付している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より国家資格取得を掲げ、職業意識を高めている。卒業時には、クラス全員が一丸となり、国家試験合格を目指して、受験に臨んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、理学療法士国家資格の取得率の向上を図るために努力を行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ハード面で、相談室の設置などは充実していないが、少人数制教育を活かし、常に学生に目を配り、相談しやすい環境を提供している。	個人面談等を積極的に取り入れている。内容によっては保護者も交え、面談も行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。また、都道府県の支援システム、個別の医療施設からの支援システムを紹介している。	まれに病院からの奨学金の案内があるので、その都度学生にアナウンスを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の行動や学業で大きな問題や、処分の対象になる前に連絡し、自宅での様子や学習状況を確認している。状況により、再度連絡、保護者面談を実施している。	成績不良者の保護者には早めに連絡を取り、必要であれば面談を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	養成施設指定規則に準じて整備し、実使用で不足する物品は、学生の使用に耐えうる数量を用意している。反面、施設、設備の老朽化が進んでおり、点検、修理の未定な修理不能物品も増加している。	指定規則にあげられている物品やその数は揃っているが、修理不能のものが増えてきているが、対応が滞っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、施設の耐震安全性の対応は、不十分であり、災害における帰宅困難時の備蓄は、できていない。	防災訓練の実施も必要。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	コロナ感染症が蔓延してからは高等学校等へ訪問に制限があるが、依頼があれば高校ガイダンスや相談会への参加準備はできている。	当科の教員も参加している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	オープンキャンパスでは、コロナウイルス感染症に伴い、密を避けるべく年間3回の開催を12回に増やし、内容についても毎年更新している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	18歳人口の減少と、高い就職率、大学等養成施設の飽和状態という厳しい状況下のため、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、第二学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は、入学選考基準により適正に審査されている。AO入試導入後、入学生レベルから、より効果的な課題内容や選考基準の検討が必要である。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は、設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の個人情報保護として、学生間でのSNS利用方針など注意喚起している。また、臨床実習における患者個人情報については、実習施設に依頼し、持ち出し管理を行っている。	臨床実習においても、書類の整理を行い運用できている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検評価により確認してい る。問題点に関しては、随時改善 するように取り組んでいる。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を 行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開している。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。